

かゑらじと かねて思へハ 梓弓
なき数に入る 名をぞとどむる
四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第71号

平成30年6月12日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

6月13日、字札45枚の句発表

正行カルタ、第2回講義で構成吟を披露

5/12 如意輪寺で現地学習

四條畷楠正行の会が制作を依頼した大阪電気通信大学社会プロジェクト実習「正行カルタ」が



順調にスタートした。(写真：5/30講義の様子)

5月12日(土)、現地学習で吉野山如意輪寺を訪れ、楠正行が四條畷の戦いに向かう前に訪れ、辞世の歌を刻んだといわれる辞世の扉や弁の内侍至情塚、正行警塚の碑、後醍醐天皇塔尾陵、正行が使ったと伝わる鎧や兜、小刀等を見学、絵札へのイメージを膨らませた。

5月23日(水)は、扇谷による正行の生涯や事跡の残る地等の44枚の字札を想定した正行についての講義に続き、30日(水)の講義では、第1部、湊川神社・如意輪寺・楠妣庵観音寺それぞれ発行の小冊子・絵葉書をスクリーンに映し出しながら、太平記の関係する件をナレーションで流すという「太平記で読む楠正行絵物語」を上映・上演、第2部、構成吟『志貫き通し義に生きたなわての誇り楠正行』を披露した。

この構成吟は、会員の真木修さんと辻総一郎さんの企画・演出で、扇谷が脚本を書いた四條畷楠正行の会オリジナルの構成吟。



明治維新150年～「楠公詠史」、小楠公登場～「櫻井訣別」、この母ありて～「詠小楠公母」、楠正行6時間の激

闘～「十念寺」、四條畷神社創建～「河内路上」、芳野山に残る正行の足跡～「芳野懐古」、平和主義者くすのきまさつら～「楠帯刀之歌」の7場面7吟で構成。

真木さん、辻さん 迫力たっぷり吟

真木さん・辻さんの迫力たっぷりの吟に、木子先生・学生はもちろん、四條畷市から出席した山本市民生活部長ら4人の幹部職員も大いに感動の様子。

私たち四條畷楠正行の会の正行顕彰に寄せる思いが、少しでも学生の皆さんに伝わり、素晴らしい正行カルタが完成することを願っている。

6月9日(土)の現地学習では、渡辺橋、四條畷神社、小楠公墓所等訪れた後、6月13日(水)、いよいよ正行カルタ45句を発表の予定。この後、絵札制作班・字札制作班・衣装箱制作班・しおり制作班・企画運営班・記録班に分かれて、正行カルタの制作とその発表イベント等の取り組みが始まり、10月の完成を目指す。

楠正行絵本に反応続々！

調べ物は基本的に田原図書館を頼っている。

古い史料や書籍が残っているのかないのか、あるとすればどこにあるのか、調べてもらい取り寄せてもらう、大変助かっている。

そんなわけで田原図書館を訪れる機会が多いが、最近新たに楽しみが一つ増えた。

「扇谷さん。皆さん、結構読んでくださいますよ。貸出できませんか？とも云われます。」と、職員の方も、正行絵本に関心を持って、見守っていただいている。

「うれしい感想文があります。感想ノートに、小学校1年生の女の子が、覚えてたのひらがなで「まさつらいいものがたり」と書いてくれています。」

通信69号で紹介した感想文以降、一部ご紹介する。

● 自由で、グッドな絵本です ●

◆地元の英雄であってもなかなか知ることのなかった楠

正行の事を6つのテーマでわかりやすく、それも絵本だったので一気に楽しく読めました。

一人の人を生き立ちと云う一本の線ではなく、エピソードを掘り下げて迫っていく方法も学生さんらしく、面白く読めました。

絵も今風でしたし、学校に持っていったって、子どもたちは興味を持ってくれるのではないのでしょうか？

◆武将、楠正行と云う人物、初めて知ることが出来ました。絵本と云う形により、とても分かりやすく、親しみがあり、興味を持ってました。

住んでいる地域の歴史に興味を持って、碑とか、尋ねてみたくなりました。詳しい歴史書なども、また開いてみたくなりました。

◆若い学生が新鮮な感覚で描いた正行像。絵本作りは大変だったと思いますが、感覚が刺激的です。

突っ込みどころが満載ですが、自由で、グッドな絵本です。次作に期待！

◆小学校1年生になったばかりの娘に読んだのですが、やはり歴史上の人物の話の事までは少し理解ができなかったようです。

しかし、四條畷出身の人物であることを説明すると、歴史に少しは興味を持ったようです。また、内容がお姫様が登場し、恋の物語という事で特に女の子には読んでみようと思える絵本かと思います。

少し悲しい話だねと、ハッピーエンドでないことに心が痛んだようですが、これもまたその時代にある内容ですよね。いろいろ考える絵本であったようです。

まさつら こいものがたり (女の子の直筆)

絵本「くすのきまさつらものがたり」製本完成

大阪電気通信大学を今年卒業した小原健也君の卒業制作絵本「くすのきまさつらものがたり」の製本が完成した。

小原君は、昨年の木子香教室とのコラボで制作した社会プロジェクト実習・絵本『楠正行6巻本』授業にも参加し、楠正行の生涯を一冊の絵本に仕上げた。

製本された絵本のうち2冊は、近日中に四條畷図書館と田原図書館に寄贈され、閲覧が始まる。



4/17「楠公さん」大河ドラマ誘致協議会発足

会長に河内長野市長、副会長は四條畷市長ら

「楠公さん」大河ドラマ誘致協議会が発足し、楠正成、正行ゆかりの地などの自治体が連携を深め、交流人口の



楠公父子、大河ドラマ誘致に向けた動きを報じる産経新聞

増加や産業振興、観光振興、文化財の活用などと連動した地域の活性化を図ることを目的に、NHK大河ドラマの誘致に動き出した。

4月17日、河内長野市で行われた発足式には、以下、25市町村が参加した。

(参加自治体)

堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、守口市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、島本町、忠岡町、熊取町、河南町、千早赤阪村(以上、大阪府)、吉野町(奈良県)、神戸市(兵庫県)

この『楠公さん』大河ドラマ誘致協議会の会長には河内長野市長が、そして副会長には、それぞれゆかりの地から富田林市長、高石市長、島本町長、千早赤阪村長と四條畷市長が選出された。

今後、事務局を河内長野市産業観光課に置き、「民」との両輪による誘致をめざすとして『楠公ツーリズム推進協議会』(5月20日発足)との連携を図りながら、積極的な誘致活動に取り組むとしている。

訂正 第52号掲載 引用論文は新編姓氏家系辞書

楠正行通信第52号「楠正行に遺腹の子がいた」と題し、地域文化誌「まんだ」2004年春夏第80号に掲載された『楠正行遺腹の子』(岡沢新吾)論文を紹介した。

この事について、兵庫県宝塚市の方から「岡沢氏が引用された出典『日本姓氏大辞典』の出版社を教えてください。」とのご連絡をいただき、改めて調査をしたところ、出典は、日本姓氏大辞典ではなく、「新編 姓氏家系辞書」(秋田書店:昭和49年12月15日初版発行)であることが判明した。

入手した同書の109頁には、「池田氏」の項があり、一部文字に異動はあるものの、引用文とはほぼ同一内容である。以上、訂正させていただきます。

(文責『四條畷楠正行の会』代表 扇谷昭)